



保護者、地域の皆様、今年度もよろしく申し上げます

太宰府東小校長の松藤 浩二(まつふじ こうじ)です。コミュニティスクールである本校は、学校、家庭、地域がみんなで見守り、子供たちに寄り添い、子供たちを支えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。保護者の皆様には、今年度も校長だより「校長室からこんにちは」を配信でお知らせしていきます。

全校児童がそろって、令和8年度が始まりました!

4月10日(金)太宰府東小学校第43回入学式を挙行いたしました。68名の新1年生を迎え、令和8年度的全児童数は469名となりました。式には太宰府市教育委員会添田教育部長をはじめ多くの来賓の皆様、6年生が参加しました。

入学式では、太宰府東小の4つの宝「挨拶」「もくもく掃除」「歌声」「思いやり」のうち、特にがんばってほしいこととして「挨拶をする」ことを話しました。そして、「にっこり笑顔で、先生やお友達、地域の皆さんにあいさつをするとすぐにその人と仲良くなれます。そして、みんながとてもうれしい気持ちになります。にっこり笑顔であいさつができる一年生になってくださいね。」と伝えています。

これから全校の子供たちと教職員と手を携えて、「4つの宝」磨きを進め、ご家庭、地域の皆さまと共に子供たちを育てる「共育」を推進していきたいと考えています。保護者の皆様、地域の皆様、これからもご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



【入学式の呼名の様子】



【6年生の歓迎の言葉の様子】

「今日も明日も行きたい学校」をめざします

太宰府東小学校では、急激に変化する時代の中で生きていく子供たちに確かな力をつけていきたいと考えています。そこで「心豊かで、進んで学ぶ、たくましい子供の育成」を教育目標に掲げ、子供たちも教職員も「今日も明日も行きたい学校」をつくっていきます。そのための方途として3つの柱を大切にします。

1つは、子供の居場所をつくる教師の姿勢・態度の日常化を図ります。子供たちが安心して学び、自己存在感や充実感を感じるようにすることです。そのために、「子供が自信をもつことができる」「子供との信頼を創る」「子供を励ます」等ができていく日常的に教師の姿勢・態度を振り返り、改善を図っていきます。

2つは、子供自身による絆づくりを具現化する「東っ子スタンダード」指導の日常化を図ります。学習中の大切なルールである「東っ子スタンダード」の「話す時」「聞く時」「交流する時」をしっかりと指導し、日常的な学習で子供たちの絆をつくっていきます。係活動、他学年と交流する縦割り活動等も含め、他者と関わる活動も積極的に行います。

3つは、自分の意見を表現する(アウトプット)活動を充実させ、言葉を用いて思考を深める授業を行い、「わかる授業」を進めます。また、AIが発展していく時代だからこそ、自分の思いや考えを表現するコミュニケーション力を育てていきます。